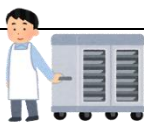


一般就労した先輩から、今できることを学ぼう！

特別支援学校を卒業し、この地域に就職した先輩達は、どのように働いているのか、仕事は上手くできているのか、就職目指して在学中から取り組めることはあるか？近隣地域に就職した卒業生の様子から考えてみます。

業種	卒業生の様子（⇒進路からの一言コメント）
給食・調理	9:00～13:30の4時間勤務。休憩なし（6時間までは休憩なしでも合法です）。日祝が休日。皿や小鉢を配膳、冷蔵庫内に並べる、お客様にご飯やおかずを提供、配膳する等の業務を担当。いつも笑顔で意欲的に取り組んでいる。手が空くと「何かできることはありますか？」と尋ね、好感が持てるとの店長の評価。本人は「会社に貢献したいと」充実した様子で話している。 ⇒笑顔で作業したりお客様と対応したりできると非常に好印象です。自分から進んで次の仕事を聞いたり、手伝ったりする姿勢は在学中と変わりません。職場にとってはなくてはならない存在になり、勤務時間が増えたり正社員に登用されたりした卒業生もいます。 
清掃	8:00～16:15の勤務。電車通勤。土日祝は休日。清掃作業自体は問題ないが、7月から勤務後に自動車学校に通い始めたことで疲労が蓄積し、作業効率が落ちたり、忘れ物をしたりする状況が見られた。体調不良で仕事を休むこともあった。 ⇒就職直後の5～8月は、信じられないくらい疲れが溜まり、精神的にもつらい時期です。この時期に自動車学校に通い始め、疲れから仕事も免許も失敗するケースが散見されます。免許取得後、昼休みはずっと車内で過ごし、会社の人と疎遠になり、結局退職した人もいます。まずは仕事に専念し、仕事も生活も軌道に乗ってからじっくり免許取得を目指す方が安心です。 
運送	6:00～14:00、11:00～19:00のいずれかのシフトで勤務。土日は休日。身体を動かすことが好きなので力仕事の荷積みはもちろん、膨大な数の仕分けの仕事にも意欲的に取り組んでいる。帰宅後や休日には筋トレ、ナイターバスケに取り組んでいる。困ったことは自分から店長等に相談している。 ⇒6時から勤務ということは、かなり早く起床し準備しなければ間に合いません。こういった勤務を続けられる人は、在学中から生活リズムが安定し、食事でも三食“もりもり”食べています。また、在学中から放課後や休日に学校外でのスポーツや筋トレに取り組んでいたことで、卒業後も安定した生活ができています。自分から元気に挨拶や返事ができると印象が良く好かれます！ 
介護	8:00～12:00、週4～5日のシフト勤務。施設清掃中心に担当。入社当初は作業効率や丁寧さに課題が見られたが、先輩からの指導を素直に聞いて改善できている。課題は自分から挨拶や返事をすること、大きなサイズの上着で手が隠れる服装、ズックのかかとを潰したまま仕事をしていること等。 ⇒卒業生の多くはパート勤務となります。4時間勤務だと、就労継続支援A型事業所と給料が同程度となり悩みます（A型は福祉施設なのでサポートが手厚い）。お客様はもちろん、同僚の方にも不快感を与えない丁寧な受け答えやスキルした身だしなみ（ビジネスカジュアル）が求められます。 

一般企業に正社員として就職した場合、学校時代よりも早く起き、一日いっぱい働く生活になります。パートの4時間～6時間勤務であれば、生活に余裕はできますが給料や福利厚生は少なくなります。

仕事はできて当たり前。手助けは同僚からの“配慮（ナチュラルサポート）”が中心となります。

教育や福祉の専門家ではない普通の社員と一緒に働くためには“素直さ！”“何でも自分から！”“めげない！”“楽しみは自分で見つける！”“休まない！”といった気持ちや身体の強さを在学中から継続している必要があります！…と言っても厳しいだけではありません。下記のような就職した卒業生をサポートする制度もありますので、多くの卒業生は支援を受けながら職場定着と生活の安定を目指してがんばることになります。

【ジョブコーチ制度】

数ヶ月程度、定期的に巡回指導や相談を受けることができます。仕事のやり方、会社や卒業生の相談にのり助けてくれたりします。ジョブコーチには訪問型と在籍型があります。

【就業・生活支援センター】

仕事上の悩みやトラブルの相談・解決や会社との橋渡しのサポート、生活面のサポート（病気や手続き、金銭管理などの相談、助言など）様々なことに対応してくれます。ジョブコーチを兼ねることもあります。

【トライアル雇用制度】

3ヶ月程度働いた上で、採用・不採用が決定する制度です。お試し期間が長くなりますが、10日程度の実習よりもじっくりと自分の適性を判断できますし、会社からも判断されることになります。